

# あ**と**が**き**に代えて

広報担当理事 引田 満

4年間、広報担当理事を勤めさせていただきましたが、5月をもってその任を終えることになりました。先月号から編集にDPTを導入し、工程の大半を電子化したこともあり、この作業にはもうしばらく携わっていくこととなりますが、広報担当としては今回の執筆が最後の仕事となります。会報の充実のため、これからもできるだけ多くの先生方に気軽に投稿していただければと思います。

在任中は鎌ヶ谷市以外の医師会報を目にする機会もしばしばでしたが、その充実度というものは、医師会の持つ活力が、そのまま反映されてくるような気がしてなりません。会員数は問題ではないのです。この会報誌が先生方のご愛顧を受けてきたかどうかは分かりませんが、誌面作りには私なりに工夫を凝らして参りましたし、そして何よりも多くの先生方から記事の投稿など、ご協力を得ることが出来ましたことに、この場を借りて感謝申し上げます。毎回ページをめくるのが少しだけ楽しみな医師会報ができればとの思いで今日までやって来ました。

本格的なICTの時代において、今後の会報誌の在り方を考えてみると、まずは医師会ホームページ内に会報誌ライブラリー（アーカイブ）を開設し、スマホ、タブレット等から自由に閲覧できるようにすること、そしてそれを第2の情報共有ツール（デジタル版）としてさらに発展させていければと思います。今後は裏方的な立場にはなりますが、微力ながらお手伝いさせていただければ幸いです。

一方で、仕事（診療）はもちろんのこと、欲しい情報の取得、伝達、共有といった手段のほとんどをインターネット、メール、SNS等に依存している現在、いつの間にか身の回りにはICT機器があふれており、ディスプレイやキーボードと長時間向き合わざるを得ない日々の生活には、いささか食傷気味なのも確かです。実はアナログ写真とアナログ時計を愛する者としては、これまでの完全手作りの会報誌は一服の清涼剤のような存在であり、それが4年にわたる編集作業のモチベーションであったように思います。編集過程をデジタル化したのは時代の流れですが、紙媒体の良さというものはやはり捨て難いもので、これからもアナログ的なモノとして在り続けて欲しい…。そんな気持ちでいます。

そろそろバトンタッチです。長い間、有難うございました。

